

05 地域コミュニティ活動

基本情報



【年 齢】
51歳
【出身地】
福岡県飯塚市
【転出元】
神奈川県鎌倉市
【前 職】
小学校教諭
【活動時期】
R2.11～（4年目）

協力隊に応募したきっかけ

「次は何しようかな」「新しい挑戦がしたいな」と思っているなか、いろいろなきっかけを探していました。コロナ禍でなかなか外に出る機会をもつことができず、どうやって今ある環境から脱出しようかなと思っていました。そんなときに「八雲町で働きますか？」と声をかけてもらいました。北海道は初めての場所だったし、新しい地域でやったことないことにチャレンジしたい、新しいことを学びたいという気持ちが強かったこともあって地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今活動しているひとつひとつの取り組みをもっと確立できるように進化させたいと思っています。コロナ禍の中で活動開始だったこともあり、4年目にしてやっと地域の人たちと一緒にいろいろな活動を作っていくことができるようになりました。任期終了と共にこれらが終わるのではなく、新しく立ち上げたものをしっかりと継続できるような仕組みを作っていきたいと思っています。任期後も今の活動を継続しながら地域の人たちと一緒に楽しいことを企画して全力で楽しめたらいいなと思っています。

活動内容

●地域支え合い支援員として

私のいる熊石地域は、人口約1700人のうち約60%が高齢者です。住み慣れた町で元気に楽しく暮らしていくためのお手伝いをしていくことが私の最大のミッションです。集いの場やサロンの実施、有償ボランティア事業などの関わりを通して「こんなことやってみよう！」を地域の人たちと一緒に作っています。



●子育て支援員として

小学生の放課後活動SUNSUNで月に2回いろんな企画をして子どもたちと活動しています。地域にあるキャンプ場や海で活動したり、収穫体験やお料理をしたりなど…。今年は自分達でお店を作って「こどもマルシェ」も開催しました。また、保育園のお手伝いにも行って子どもたちと楽しんでします。



●町づくりにつながるいろいろな活動

地域の人たちの手づくりのものなどを展示販売する「クマルシェ」や相沼地区での母さんたちと一緒に「あいぬ〇シェ」を開催。他にも根崎神社例大祭や相沼奴の復活、継続に向けてのお手伝い、大学生やワーケーションの受入などジャンルを問わず、地域に関わるいろいろな活動をマルチに行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) mamekuma39@gmail.com
(電話番号) 01398-2-3111 (熊石総合支所)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
熊石ブログ春夏秋冬
<https://www.town.yakumo.lg.jp/blog/kumaishi/>



基本情報



【年 齢】
38 歳

【出身地】
兵庫県 姫路市

【転出元】
東京都 武蔵野市

【前 職】
人材系ベンチャー企業

【活動時期】
R4.12～

協力隊に応募したきっかけ

人材業界で働く傍ら、地域にこそ人材の支援が必要だと考え、これまでの知見を活かし、ヒトの力で、地方に活力を生み、日本を元気にしたいと思いから、茨城県北地域おこし協力隊【起業・複業型】に応募。

自治体や地域機関と共に、日々地域の人的課題に向き合い、地域に寄り添った人材支援を行っている。

今後の抱負・任期後の目標

地域に人がいなくても事業運営ができる仕組みをつくること。人が減ることがほぼ確定している地域で、定住人口だけで事業づくりを進めるのではなく、外部人材の活用などを通して、地域企業の経営の手段を改革を進めながら、地域経済の発展に寄与することが目標。

そのためのサービスを続々と企画、推進している。

活動内容

●「地域課題」と「副業・兼業」人材をつなぐプラットフォーム『Otanomi（オタノミ）』の提供

地域の中小企業・自治体の『課題』と、それを解決できるスキルや経験を有する『副業・兼業人材』とのマッチングサイトを提供。茨城県北地域で副業・スキルをシェアを実現した。



●地域機関と共に推進する地域の人的課題解決支援

関東経済産業局の「地域の人事部」に参画し、自治体や地域機関と連携した人材支援活動を実施。対象地域（茨城県日立市、常陸太田市、大子町）において、「人材戦略・組織変革支援」、「人材採用支援」、「人材育成・定着支援」を行い、地域中小企業の「人的資本経営」の定着を目指している。



●新卒・中途採用、インターン採用等、企業の抱えている採用領域の課題に対するワンストップ支援

企業の課題に寄り添い、採用課題の解決サービスを提供。特定の手段に囚われず、数十あるサービスのラインナップから、目的に沿ったサービスを提案。業種は第一次産業から第三次産業まで幅広く、伴走支援を行っている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】 w.mimaki@shinkaze.jp

（メールアドレス（個人or職場）） w.mimaki@shinkaze.jp
（電話番号（個人or職場）） 080-6217-3891

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://shinkaze.jp/service/> （Otanomi） <https://o-tanomi.jp/>

基本情報



【年齢】
32歳
【出身地】
群馬県安中市
【転出元】
東京都八王子市
【前職】
ホテルマン
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

私の人生目標は「地域を盛り上げ、地域を牽引できる人材になる」ことです。この目標を達成するため、大学時代は自ら地域魅力発信ツールを開発する学生団体を立ち上げたり、就職後は地域企業と協力し地域の魅力を生かした商品開発をしていました。

その中で「地域を支えている中小企業を元気にし、自らも地域の課題を解決する当事者になる必要」を実感し、中小企業診断士の資格を取得し、自らもプレイヤーとなるため協力隊に応募いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

伊勢崎中心市街地を継続的に活性化していくための事業を法人として主催しつつ、各事業体同士の取次や情報発信、運営のサポート等も包括的に執り行う組織を立ち上げ運営を行っていきたく考えています。

また、上記活動に加え基幹収益事業は、中小企業診断士のマネジメント業を想定しており、まちなかの活動で構築した社会関係資本を活かして、地域企業のサポーターとしても活動していくことが目標です。

活動内容

●本町和菓子ストリート

和菓子を通じてまちなかの魅力を再発見してもらうため、市の補助金を活用し、イベントを立ち上げました。神社境内で銘仙を着て踊る「着物deパーティナイト」という新しい試みもしています！今後もまちなかに賑わいを創っていききたいと思います！



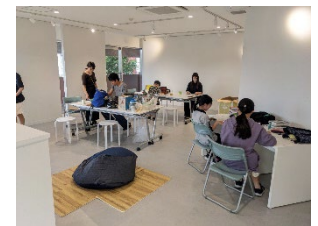
●イセサキまちなか謎解きウォーク

まちなかを周遊してもらうためのイベントとして開催しています。市のキャラクター「くわまる」とLINEで会話しながら謎を解くスタイルと、楽しみながら街のことを知ることができます。学生たちと協力しながら企画・運営しています！



●まちなかユーススペース

令和6年8月からまちなかでユースが集まれる第三の居場所として、「まちなかユーススペース」を開設しました。勉強や趣味、昼寝などを自由楽しめる場所を提供していきたいと思っています。



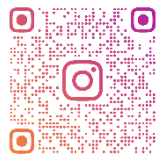
連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（個人）：
narimorimori@gmail.com
電話番号（個人）：080-4406-0880

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】



Facebook



ISESAKI_INNOVATER_K

Instagram

基本情報



【年 齢】
31歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
東京都世田谷区
【前 職】
学 生
【活動時期】
R5.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

幼少のころから自然が好きだったことから植物学と野生動物の行動学を大学で学び、環境問題の多いこの時代に生物の保全を中心に農業をしたい思いから、協力隊に応募しました。

また、私の着任地域は祖父の活動に所縁のあったため、自身が物心つく前より家族と訪れていた場所であり地元住民との関わりも深かった地域だったこともきっかけになりました。

今後の抱負・任期後の目標

狩猟免許を取得し、集落の害獣駆除を行いたいです。また、駆除の際に出た獣肉を集落内の温泉・宿泊施設の料理で提供もしてみたいと思っています。集落内の農業の存続も考えて、既存の農産物生産の維持、耕作放棄地の復活による増産も視野に入れて活動していきます。

任期後は、着任地に定住し、農業、狩猟、除雪を仕事にして生活したいと思っています。

活動内容

●集落の生活支援と維持

今までの住人だけでは手が付けられなかった集落内の農道の草刈りや、未利用農地での作付けを実施。また、集落内の農作業もお手伝い。

生活飲料水が出なくなったときは、集落の皆さんと一緒に復旧作業に従事。



●小学生の親子を対象にした生物観察会を実施

協力隊自身が、昆虫などの生物に詳しいことから、任務地の地域で、地元の小学生の親子を対象にした生物観察会を3回実施。

当日は、昆虫に詳しい協力隊員が顔を付けて、虫好きの小学生が集まりました。観察会後は、隊員が支援している「深山の里」で、協力隊が打ったそばをみんなで楽しみました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス(職場)) chiikikyosei@city.myoko.niigata.jp

(電話番号(職場)) 0255-74-0063

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

facebook: <https://ja-jp.facebook.com/tiikinokosi>

Instagram:

https://www.instagram.com/myoko_chiikiokoshi/?utm_medium=copy_link

基本情報



【年 齢】
41歳
【出身地】
石川県輪島市
【転出元】
三重県桑名市
【前 職】
アパレルブランド
スーパーバイザー
【活動時期】
R4.4～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

輪島高校を卒業後輪島を離れ、いつかは故郷に貢献したい想いがずっとありましたが、自分を活かし輪島へ貢献する仕事が見つからずにいました。そんな際に輪島の10代が置かれる状況を知り、自分の子ども時代と比べて大きく変化していることに驚きと憂いを持ち、更にわじまティーンラボ構想に強く共感したことから協力隊に応募しました。前職では事業管理や人事に携わる機会が多く、10代の学校・生活環境にも興味があり、培った経験を活かせると思ったことも応募する要因となりました。

今後の抱負・任期後の目標

- ・復興フェーズにおいて子ども、若者が関わっていけるような環境づくりをしたい。復興後を担う今の10代が少しでも復興に関わることでまた輪島で過ごしたいと思ってもらえるように。
- ・地域の皆様から必要と認めてもらえるように、地域に根差した団体となるような活動をしていきたい。
- ・高校を卒業した生徒が、その後も輪島に関わり続けれる仕掛けを作っていきたい。

活動内容

●わじまティーンラボの運営

輪島市河井町にある10代の居場所“わじまティーンラボ” 地震前から子どもの居場所不足でしたが、地震後は更に自由に過ごせる場所がなくなりました。自分らしく自由に過ごせる環境を作ることで、ちょっとした悩みを聞いたり、やりたいことにチャレンジしたりなど、10代の応援をしています。



●奥能登ティーンフェスの開催

毎年7月に輪島市マリンタウンで開催する10代のためのイベント。実行委員会に高校生も参加し一緒に企画運営を行います。地域内外から出店を募ったり、みんなが盛り上がるアーティストによるステージイベントを開催。やりたいことを一緒に実現することを体験する企画として開催しています。



●地震後の子ども部屋開設

令和6年能登半島地震後の急性期に子どもの居場所が激減し、安心して発散する場所がなくなってしまったことを受け、認定NPO法人カタリバと連携して輪島高校に「みんなの子ども部屋」を開設。外部支援と学校や教育委員会との橋渡しや、地域住民の運営参加を繋ぐ活動も行いました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス(個人)) a.koura@jikkurato.com

(電話番号(個人)) 090-6164-8909

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram)

https://www.instagram.com/wajima.teen.lab?igsh=YnUzcjB1MXk4c3Vx&utm_source=qr

基本情報



【年 齢】
52歳
【出身地】
兵庫県明石市
【転出元】
大阪府大阪市
【前 職】
会計事務所勤務
【活動時期】
R3.7～R6.6（3年目）

協力隊に応募したきっかけ

山に囲まれた自然豊かな場所に居を移して生活したい、社会貢献活動に関われるような働き方にシフトしたいという想いから地方移住に関心をもつようになり、長野県を中心に移住先を探していました。

日本仕事百貨の募集記事を見て、先進的な関係人口創出の取り組みや、シビック・イノベーション拠点「スナバ」のような多様な人と出会えるコミュニティがある塩尻という町に興味をもち、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

ポータルサイトの運営を通じて、地域内で活動するプレイヤーの情報を収集・発信するとともに、地域外の方々が塩尻と関わるきっかけとなる窓口の役割を果たすことで、地域と継続的に繋がる関係人口を増やしていきたいです。着任して2年たち、人との繋がりもでき、地域への愛着も湧いてきています。昨年からは夫婦で空き家利活用プロジェクトに本格的に参入し、今後も引き続き本プロジェクトを通じて地域活性に繋がる活動を行っていききたいと思います。

活動内容

●関係人口創出事業

副業などで関わる首都圏のプロ人材と協働して地域課題を解決する関係人口創出事業の企画・運営に携わっています。具体的には、地域課題の発掘とプログラムの企画・設計、関係人口コミュニティの運営、副業／プロボノ人材の募集・採用とコーディネート、各種イベントや座談会の開催などを行っています。



●関係人口ポータルサイト「のりしお」の運営

noteの地方公共団体支援プログラム活用し、関係人口向けポータルサイトを立ち上げ、運営を行っています。市内外の誰でも参加できるイベントやプロジェクトの情報を、塩尻を「まなぶ」、塩尻に「かかわる」、塩尻で「はたらく」の3カテゴリーに分けて発信しています。



●空き家利活用プロジェクト

塩尻市街地の空き家を改修し、滞在型交流拠点に再生する事業を行っています。地域内外の人が垣根を越えて交流する場をつくることで、継続的に地域に関わり街の活性化に寄与する関係人口の創出を目指します。2024年初旬にはシェアハウスがOPENする予定です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）naokoueda714@gmail.com
（電話番号）080-6127-9377

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
<https://shiojiri-city.note.jp/>
<https://twitter.com/norishiojiri>

基本情報



【年 齢】
41歳
【出身地】
愛知県稲沢市
【転出元】
愛知県一宮市
【前 職】
民間企業の人事担当
【活動時期】
R3.10～ R7.3

協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍で社会の変化や働き方、人生観について考えていた時に、自然環境・文化・産業が持続的に循環する地域づくりを真剣に熟く考える岡崎の山間、まち中の人たちと出会い、里山の可能性に惹かれた。

額田の美しい自然や文化に育まれた岡崎・額田地域で、日常や地域のつながりの中に、豊かさや生きがいを感じられる暮らしを地域内外に発信したい、自分自身が地域づくりの一助となりライフワークにしたいという思いから、協力隊に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

魅力ある地域づくりにおいて、岡崎の誇りを再認識し住民自身が地域のファンであること、住民×住民、市×住民の多様なつながりを深めることの促進に取り組みたい。そのために、住民、地元企業、活動団体等の皆さんの思いを伺い、「当たり前」の中にある岡崎らしさに関心を向けてもらえるよう、人事経験を活かしたヒアリングや関係構築を図りながら、住民創出型の地域づくりに挑戦していきたい。

活動内容

●額田地域の魅力発掘！

里山の交流場“茶端会議”を開催。
茶づくりが昔から受け継がれる額田地域で井戸端ならぬ茶畑で、住民とまち中の女性達とがおしゃべりしながら、里山の暮らし、遊び方など、地域の当たり前の中にある魅力を発掘している。
活動状況は地域の瓦版で発信し輪を広げている。



●額田地域の魅力を磨く！

額田の達人と歴史を楽しむコンテンツづくりとして地域で語り継がれる歴史や伝承を住民のみなさんからヒアリングし、地域独特の暮らしや文化を残していく活動をしている。戦国時代の城址、猪垣、旧道・古道など、額田の足跡を辿りながら里山の生きる知恵を体験できる企画をしている。



●額田地域の魅力を発信！

里山の暮らし体験/楽しみ方体験をするイベントや地元小学生や地元大学生との額田の魅力発信企画、地域のおさんぽパンフレット作成、Instagramなど、地域外の方に額田を知っていただく活動と、住民のみなさんがふるさとの価値を再発見していただくきっかけとなるように情報発信を行っている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) nukatrip@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagramで地域情報を発信中！
皆さんフォローをお願いします！！



NUKATA.OKOSHI



@IROLIER_YAMALAB

基本情報



【年 齢】
22歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前 職】
大学生
【活動時期】
R4.6～R7.5

協力隊に応募したきっかけ

18歳の時にコロナで大学が完全オンラインになり、ならば授業を受けながら自分の興味のある地域づくりを現場で学びたいと世の中が外出自粛ムードな中、奇跡的なご縁をいただき尾鷲市に来ました。

最初は、街の観光交流施設での住み込みインターンをさせていただき、もっともっと尾鷲で自分のできることをしてみたいと向井地区の地域おこし協力隊に応募しました！

今後の抱負・任期後の目標

協力隊卒業後は、2年前に向井地区の方と共に立ち上げた一般社団法人つちからみのれの方で、現在行っている多世代の居場所「むむむ。」などの活動をさらに加速させていきたいと思っています！

尾鷲市に全国から視察が来るような、ここにしかない魅力的な場所にしていきたいと思っています！

活動内容

●多世代の居場所「むむむ。」

子どもたちが多様な人に出会い、様々な選択肢に触れられる場所として、向井地区に多世代の居場所「むむむ。」を立ち上げ運営している。ここには子どもも大人も、地域外の方もたくさんの人が集う。



●耕作放棄地の活用や生物多様性を高める取り組み

生物多様性を守る上で重要な田んぼ。かつて多くあった向井地区でも減っているため、復活させ生き物が帰ってくるようにしようという取組を公益財団法人日本自然保護協会にサポート頂き、お世話まい農園、地域の子供達と共に行っている。



●視察・授業の受け入れ

「むむむ。」の取組などを現地で紹介する視察の受け入れや、高校生・大学生などが実際に向井地区に来て学ぶ滞在型授業の受け入れを始めている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス：個人) fuka0305fuka@gmail.com

(電話番号：個人) 080-2131-4828

【活動の様子を発信しているSNS：個人】



日向風花 facebook



日向風花Instagram



むむむ. Instagram

基本情報



【年 齢】
54歳
【出身地】
神奈川県座間市
【転出元】
大阪府高槻市
【前 職】
会社役員
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

高校生の息子が滋賀県内の学校に通学。コロナ禍、私の仕事のリモートになったこともあり、滋賀県守山市に家を借りお試し移住をしてみたことが、本格的に滋賀への移住を考えるきっかけでした。なんせ空は広いし、空気は澄んでいるし、食べ物は美味しいし。あわせて50歳を過ぎた頃から、仕事をする意義について考え始め、経済的なメリットよりも、今までの経験を活かし、誰かのためになる仕事をしたいと強く思い、前職の化粧品会社CMOを退任。協力隊に応募し、町のために働きたいと思いました。

今後の抱負・任期後の目標

街には広い土地や美味しくて安い食材など、資源は豊富にあるにも関わらず、町に住む人々に還元されていないと思いました。たとえば名産品である「秦荘のやまいも」は贈答品として町外に出荷され、町には食べたことがない人も多かったり、美味しい野菜は町外の飲食店に出荷され、地域のスーパーには県外の野菜しか並んでいなかったり。町の人がこの町をもっと好きになれるように、町の資源を還元し、また、町のいいところを知ってもらうための活動を行っていきたいと考えています。

活動内容

●地域資源をつかった商品開発

1年目のR5年11月に、愛荘町のしょうがを使ったジンジャーシロップ「愛しょうが」を発売しました。かつてしょうがの一大産地だったのに、現在では数件しかないしょうが農家から仕入れ、使い道がなかったしょうがをアップサイクルしました。「愛しょうが」の名称は幅広く商標登録し、町内のしょうがを使った加工食品を販売する場合には、誰もが無償で利用できる仕組みを作りました。これによりしょうがの生産が増えることを目的としています。



●地域の空き家を活用したコミュニティキッチンを開拓

空き家をリノベーションして、まちのキッチン「MACHI KICHI」を開拓予定。町の美味しい食材を気軽に食べられるお惣菜屋を始めます。また飲食店をしたい人にレンタルしたり、料理教室を開催したり、コミュニティキッチンとして町の人が集まれる場所に育てたいと考えています。協力隊同期に生ごみ堆肥を促進する活動をしているメンバーがいるので、コンポストを設置し、生ごみを減らす実験も町の人とともに進めていく予定です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス(愛荘町みらい創生課)) seisaku@town.aisho.lg.jp
(電話番号(愛荘町みらい創生課)) 0749-29-9046

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

移住スカウトサービスSMOUT <https://smout.jp/scoutees/51908>
Instagram まちのキッチン MACHI KICHI (@machi_kichi)

基本情報



【年 齢】
38歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京丹後市
【前 職】
公務員（消防士）
【活動時期】
R1.11.11～ R6.11.10

協力隊に応募したきっかけ

妻の実家が京丹後市にあり、京丹後市を知ったことがキッカケです。自然、食、人の素晴らしさに魅了されました。子どもが生まれた頃、「子育てをするなら丹後の自然の中で育てたい。」と思うようになり、移住を考えました。前職は消防士でしたが、休みを利用して頻繁に丹後を訪れていました。丹後の自然がとにかく大好きで、丹後で暮らせるなら、消防を辞めても惜しくはないと考えていたので、丹後のまちに貢献できる『協力隊』の仕事を知り、是非やりたい！と応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

ミッション開始から、観光や自然環境保護の活動を行ってきました。特に注力していたビーチクリーン活動を生業にするべく、任期終了を間近に控え「株式会社あしあと」を立ち上げました。（R6年11月任期終了）

今後も引き続き京丹後の海を拠点に、「ビーチクリーン事業」「アップサイクル事業」「ツアー・体験事業」「e-Bikeリース事業」「寄付付き電力推進事業」を中心とした活動を通し、はだしで遊べる海を未来につないでいきます。

活動内容

●ビーチクリーン活動

自然が豊かな丹後も、年間を通じて大量の海ゴミが漂着します。今後、海ゴミは30年で2～3倍に増えることが予測されています。未来を生きることもたちに豊かな自然を残すため、定期的にビーチクリーンを実施しています。SNSで参加を呼びかけ、毎月50名以上が集まるイベントになっています。



●Precious Plastic

オランダで生まれたプラスチックリサイクルプロジェクトを行っています。目の前で体験しながらプラスチックのリサイクルやゴミについて学べる研修を作成し、現在、地元教育機関への講演や体験の提供しており、また他府県からの企業や団体からの視察、研修を受け入れています。



●Eバイクを活用した観光

丹後の大自然やまちなみ、人の雰囲気ダイレクトに感じることでできる手段としてEバイクのレンタルサイクルを実施しています。Eバイクは配送・回収できるサービスを行っており、Eバイクを所有していない宿や駅であっても、丹後を訪れる方がレンタルサイクルを利用できるように体制をつくりました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

株式会社あしあと

〒京都府京丹後市網野町浅茂川272

（メールアドレス）ashiato.jp@gmail.com （電話番号）070-4491-6352

（営業時間）9:00～17:00 （定休日）月曜日、年末年始

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（Instagram）<https://www.instagram.com/yoisho8>

基本情報



【年 齢】
32歳
【出身地】
京都府亀岡市
【転出元】
京都府
【前 職】
まちづくり会社経営
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

自治体では珍しい、VMV（ビジョン・ミッション・バリュー）を設定し、全国で2番目に小さい町だからこそそのまちづくりを探求している町長や職員さんの想いに共感したため。また、自身の専門性やこれまでのキャリアを活かし、これからの公共の在り方にデザインの視点から貢献したいと感じた。

今後の抱負・任期後の目標

全国で2番目に小さい町である三宅町は、〈小ささ〉の価値を探求し、人口減少や縮退が進む自治体経営の未来を描こうとしている。まちのビジョンとして掲げられている自分らしい幸福が実現するまちづくりを目標に、自分たちで自分たちのまちを豊かにしていく文化や、そのための自治システムのデザインに取り組みたい。

活動内容

● 公共施設MiiMoを起点とした地域自治のための調査・企画運営・各種マネジメント

貸し館主体の従来型の公共施設を、挑戦を育むインキュベーションセンターにリデザインし、三宅町民や関係人口による自治の風土を生み出すための仕組みづくりに取り組む。



● 地域おこし協力隊のマネジメントと共創の場づくり

三宅町のミッションに基づいた戦略的な隊員募集と、個人活動×ユニット活動の仕組みづくりによる隊員のマネジメント・共創事業の推進を担当。



● 三宅町独自の住民自治を実現する政策デザイン

三宅町が目指す住民自治のシステムづくりに向けた調査・イベント・企画立案等の政策デザインに従事。
〈Small is 〇?〉をコンセプトに、三宅町版のリビングラボ設立に向けたデザインリサーチに取り組む。

〈小ささ〉とは、可能性だ。

Small is .

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人or職場)) info@hasen-inc.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) @miyake_myake

基本情報



【年 齢】
43歳
【出身地】
スイスとフランス
【転出元】
京都府京都市
【前 職】
司書長
【活動時期】
R5.4～R8.3予定

協力隊に応募したきっかけ

3年前、新婚旅行で隠岐に来ました。海岸や植物を見て、感動しました。隠岐の人々はとても親切でした。そして、子供が生まれたときに、隠岐の自然の近くで成長させることが良いと思いました。

今後の抱負・任期後の目標

主に山岳ガイド協会の試験の勉強に取り組んでいます。また、フランス語と英語で隠岐の文化や隠岐アルプスの美しさを案内する活動を通じて伝えたいと思います。

他にも、隠岐の島には過去の写真や他の書類（絵など）がたくさんあり、それらを保存し、伝えることが重要だと考えています。だから隠岐アーカイブNPO法人を作ってみましたと考えています。

活動内容

●浄土ヶ浦の食堂と卵敷のフリーマーケット

夏には、浄土ヶ浦の食堂で約2ヶ月間、手伝いをしました。注文を受けたり食器を洗ったりしながら、隠岐の料理を味わうことができました。冬には、卵敷でフリーマーケットを無事に開催しました。屋台やミシンの部屋、占い、映画館などがあり、とても楽しかったです。



●布施地区の見回り

布施の人々は、倒木や大雪が積もった時に連絡します。その後、あっちこっちに行って積極的に清掃します。全力でみんなと頑張ります。たまに隠岐シャクナゲ遊歩道パトロールをしています。それをする時には飯美の人は山菜の名前と使い方を教えてください。毒の植物は気をつけましょう。



●美術は地域をひらく

お化けは記憶が薄れる場所に住んでいます。そして、芸術を通じて彼らを追い払うことができます。それゆえに、布施の旧中学校にお化けがいると聞きましたので展示会を開催しました。布施の人々と地域おこし協力隊と一緒に学校を掃除し、見つけたものを整理しました。賑やかな思い出を作れました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

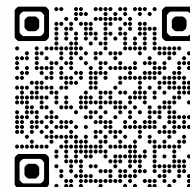
メールアドレス（職場）

c-drotkowski5112@town.okinoshima.shimane.jp

電話番号（職場）08512-7-4311

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(Instagram) https://www.instagram.com/oki_chiikiokos



基本情報



【年 齢】
35歳
【出身地】
ベトナム ハイズオン省
【転出元】
大阪府堺市
【前 職】
化学部 エンジニア
【活動時期】
R5.10月～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

2015年から3年間、私は技能実習生として安芸高田市で働きました。そのときに市民の方が優しく接してくださり、私を育ててくれた安芸高田市にいつか「大恩返し」をしたい、働きたいとずっと思っていました。安芸高田市がベトナム人コミュニティ構築を目的に協力隊員の募集をしていると聞いた時は、躊躇なく応募しました。これまでの経験を生かして東南アジア外国人実習生を支援して、日本人市民と外国人実習生のつなぎ役となり、みんなにとって楽しく住みやすい安芸高田市にしたいと思います。今では、ここは私の第2の故郷です。

今後の抱負・任期後の目標

安定した仕事は、スキルの向上、様々な知識の習得につながり、自分自身が会社・団体の役に立つことで貢献していることを実感できると考えています。私自身は安定した仕事を継続していくことが目標で、それができれば、将来は家族を日本へ迎えたいと思っています。協力隊員としての目標は、外国人実習生たちが日本での仕事を通じて最良の経験を得られるように、もっと多くの支援をしていきたいです。

活動内容

●ベトナム人(及び東南アジア外国人)住民の支援

ベトナム人住民とのコミュニティをつくるため、Facebook へ「安芸高田市に住んでいるベトナム人会」を作成し管理しています。これを通してベトナム人実習生の声を聞き、悩み相談や対面相談などを受けています。

そして、市役所の窓口・病院に来られる実習生の通訳・翻訳の対応もしています。

●イベント実施(多文化共生・国際交流の推進)

市民の異文化の理解を深めることができるようにベトナム文化の紹介、国際交流イベントの企画を立ち上げて、実施しています。2024年2月10日に安芸高田市で初めて、外国人向けのイベント「ベトナムデット」を開催し、国籍や宗教を問わず、たくさんの人に集ってもらい、ベトナムお節料理を食べながら楽しく交流しました。

また、市内在住の外国人が日本人と接する機会をよりたくさん増やすため、各種イベントの協力もしています。

●日本語学習支援

日本で働き続けていくには、日常生活に必要な日本語学習だけでなく、さらなるレベルアップが必要です。オンラインによるJLPT試験(日本語能力試験)に向けた日本語学習の支援に加えて、個別に実習技能試験・特定技能1号試験に向けた学習の支援もしています。



Cộng đồng người Việt ở Akitakata shi/Hiroshima
34「いいね!」・64 フォロワー
Là group kết nối, chia sẻ thông tin tới người Việt Nam đang sinh sống và làm việc tại Akitakata shi



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

【職場】 安芸高田市役所 市民部社会環境課

(メールアドレス) shakaikankyo@city.akitakata.jp

(電話番号) 0826-42-1126

基本情報



【年 齢】
37歳
【出身地】
奈良県桜井市
【転出元】
大阪府大阪市
【前 職】
市役所職員（事務職）
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

・新規就農を目的として移住先を検討している際に、現在の受入団体で、移住サポートをしていただいているNPO法人の方から勧めいただきました。
・NPOがまちづくり全般に関して多様な取り組みをしており、前職が市役所職員でまちづくりにも関心が強かったため希望しました。農業とまちづくり両面に携わることができるため、希望が叶う選択でした。

今後の抱負・任期後の目標

現在、徳島県特産のすだち農家のもとで修行しており、退任後の新規就農を計画しています。
また農村RMOを活用した事業に取り組んでおり、補助期間終了後も、持続可能なまちづくりに取り組むために、まちづくり会社の立ち上げを目指しています。
過疎地域の事務集約や、教育事業、地域公共交通の運営等、第2役場的な役割を果たしたいと考えています。

活動内容

●農業研修（ハウスすだち）

徳島県特産のすだち、その中でもほぼ阿南市のみで行われているハウス栽培の先輩農家のもとで、協力隊退任後の新規就農を目指して修行させていただいています。
また県農大が設置する「かんきつアカデミー」にも通い、柑橘栽培について学んでいます。



●農村RMO事業

受入団体が行う農村RMO事業で、複数の取り組みを行っています。多世代交流拠点の施設づくりや、地域公共交通のための新しい交通モードの検討などを行っています。



●探求学習の場づくり

事業構想の段階ですが、大人も子どもも学ぶ、農村の地域住民や自然、地域課題を活かした探求学習プログラムの実施を計画しています。
地域全体で子どもを育てる、大人も挑戦を続ける環境づくりを目指しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）bmarugoto4@gmail.com
（電話番号）080-5718-6665

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook）<https://www.facebook.com/Kamodani>



Instagram

基本情報



【年 齢】
26歳
【出身地】
長崎県長崎市
【転出元】
兵庫県尼崎市
【前 職】
事務
【活動時期】
R6.5～R9.4

協力隊に応募したきっかけ

自身のルーツである五島列島を移住先として考えていましたが、様々な理由で移住できる状況でないと悩んでいたときに、唐津市の募集を見つけました。自身の経験や地元への思いが唐津の島に関わる人たちに対して、近い目線で何かお役にたてるのではないかと思います。島に想いがある人と、島の人たちを繋いで、あったかくて元氣がもらえるような楽しいコミュニティを作りたいと思い志望しました。

今後の抱負・任期後の目標

活動を見てくれた人に「楽しそうだから自分も混ざりたいな」と思ってもらえるコミュニティを作ることが目標です。そのためには、何よりもまずは自分が楽しみ、楽しさをみんなで共有することが大事だと思っています。「島」であるからこその制約（定期船の定員・時刻・欠航事情や、島内の移動手段確保など）もありますが、それもまた一興だと思って、協力してくださる皆さんと一緒に知恵を絞り合いながら少しずつコミュニティを形作っていきたいです。

活動内容

●島を知ってもらうきっかけづくり

「島あるき」というイベント2度開催しました。第1回は2024年9月に向島で、第2回は10月に高島で、第3回は2025年5月に小川島で開催しました。このイベントは、島に興味はあるけど1人で行っても楽しみ方が分からないという方々の声に応えて実施したものです。



●島を知ってもらうきっかけづくり2

私と同じく唐津市内(相知・蕨野の棚田)で地域おこし協力隊をしていた山口真奈さん全面協力のもと、蕨野の棚田のイベントに高島・神集島・加唐島より出店を行いました。イベント終了後は3つの島合同でオンライン交流会を行い、島内外と島同士を繋ぐイベントとなりました。



●コミュニティの卵づくり

定期的に島に足を運んでもらうことを目指して、月1回ペースを目標に島内のカフェとのコラボイベント（ワークショップ等）実施を考えています。何度か繰り返し訪れてもらうことで島を通じたお友達を作っていただき、そこでできた関係性をコミュニティの卵として育てていきたいと思っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス（個人or職場））7shima.maruyama@gmail.com
（電話番号（個人or職場））0955-72-9220

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

（個人インスタグラム）@8_carat.maruyama
（共同インスタグラム）@8_carat.karatsu

基本情報



【年 齢】
31歳
【出身地】
東京都清瀬市
【転出元】
茨城県水戸市
【前 職】
農業学校職員
【活動時期】
R2.7～

協力隊に応募したきっかけ

生まれてからずっと都会暮らしで、最初の仕事はプログラマーでした。

しかし、どうしても環境に馴染めずに退職後、農業の世界で自然と関わりながら暮らす生活を知り、こんな生き方をしてもいいのか、というヒントをもらいました。

屋久島町の協力隊に応募したのは、そんな都会の生き方しか知らなかった反動で、もっと自然あふれる場所で暮らしてみたい、自分の生き方を試してみたい、と感じたのがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

口永良部島初となる水産加工場「港のとと屋」で、島の漁業を盛り上げるべく、水産製品の製造販売に取り組み続けます。

また、島の環境保全・活用を目的に立ち上げたボランティア団体『E-Lab』では、島の子供たちはもちろん、この島の自然環境をもっと多くの人に好きになってもらえるよう、環境教育にも力を入れていきたいと考えています。

活動内容

●水産加工

2年かけてDIYで建てた水産加工場「港のとと屋」で、島の魚介を使った加工品の製造に取り組んでいます。

現在、「港のとと屋のおさかなハンバーグ」の商品化を目標に、屋久島の飲食店との連携やオンラインでの販売を目指して日々試行錯誤しています。



●環境保全・活用

人口100名の島の環境を保全し活用することを目的として、島民とともに立ち上げたボランティア団体「E-Lab（イーラボ）」の代表を務めています。

口永良部島が好き！と思ってもらえるよう、環境保全活動や環境教育イベントを開催しています。



●情報発信

口永良部島観光サイトの運営や、ラジオ出演などを通じて、島の情報発信に取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス 個人）i.k.6oranges@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（港のとと屋 HP）<https://minatonototoya.jp/>
（E-Lab HP）<https://www.kuchi-e-lab.org/>
（note）<https://note.com/shizengasuki>



note